

大津のことがもっと好きになる情報誌

おおづ

7
JULY 2017



今月のみどころ

平成29年採用試験案内

大津町職員採用試験 など
地域の職員として一緒に働きませんか？

概要版 大津町新庁舎建設基本構想(案)

基本構想(案)を公表し、皆さんのご意見を募集します

今月の表紙

6月7日に行われた泥んこ遊びの1コマ。陣内幼稚園の子どもたち約50人が岩坂の水田で遊びました。普段は味わえない泥や水の感触に歓声をあげます。「飛び込むよ！見てて！」田んぼの中で元気いっぱいでした。

Public relations
OZU TOWN



肥後ちゃぼには大きく分けて「大冠桂」^⑤と「達磨」^⑥の2種類がある。特別賞は大冠桂が受賞(左写真)。英国家禽協会特別賞のリボン勲章。リボンには「HIGO CHABO」の文字(上写真)。

Clozu-up Ozu-jin

クローズアップ 大津人

広報 おおづ 2017 7



「親父の『ちゃぼは可愛いな』がうれしくて」

ふるしょう たかはる
古庄 隆治さん (平川)

発行・編集 大津町・総務課
〒869-1292 熊本市東区大津町大字大津 1233 番地
TEL.096(293)3111 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/> ※広報おおづは環境に配慮して再生紙と植物油墨を使用しています。

210 印刷 株式会社
JPD FONT
風やすぐ読みまちがえにくい
フォントを採用しています。

本業の樹木園の傍ら肥後ちゃぼを育て、「第49回肥後ちゃぼ展」で「英国家禽協会特別賞」に輝いた古庄隆治さんをクローズアップする。

「肥後ちゃぼ」は古くは江戸時代中期から飼育されていた鶏の一種。鶏の半分以下の小さな体と短い足、そしてオスは冠のような鶏冠とくちばしの下のひげのような真っ赤な肉髯。そして、直立した尾羽が特徴で鳴き声は鶏と似ている。

5月20日、21日の2日間、熊本市動植物園で「肥後ちゃぼ保存会」による「第49回肥後ちゃぼ展」が開催された。県内外、約100人の会員が愛情を持って育てた肥後ちゃぼたちの品評会も開催される。肥後ちゃぼ保存会は今年で創立50年。昨年は熊本地震の影響で大会は中止になったが今年は無事に開催された。

古庄さんは初出品であったが、50羽を超える出展の中からイギリス家禽協会の特別審査員の目に止まり「英国家禽協会特別賞」に輝いた。突然の受賞に戸惑った。

「保存会の中でも若い世代の自分が受賞しているものだろうかと思った」としながら、古庄さんが愛情を注いで育てた白いちゃぼ「大冠桂」は愛らしい体にピンと天に向かって伸びた尾羽を優雅に揺らしていた。

古庄さんがちゃぼを飼いはじめたのは知人から譲り受けた約5年前。自身が小さい頃に庭先にいた鶏の記憶を頼りに飼育をはじめた。「昨年」になったうちの親父が庭先のちゃぼを見ながら「ちゃぼは可愛いな」と言ってくるのがうれしくてね」と目を潤ませる。

「昔町までは町のいたるところで鶏の鳴き声が響いていたが今は減ってしまった。時代の流れだろうけど。肥後ちゃぼは「肥後五鶏」の一種類。血統を守ることは歴史、伝統を守ること。ふとしたきっかけで飼育を始めたが今は地震も耐え抜いた立派な家族。確かな絆がそこには見えた。

からいもくん便り

大津町総合情報メール
携帯電話やパソコンのメール機能を活用して、生活に役立つさまざまな情報をお知らせするシステムです。
登録方法: ozutown@gw.ansin-anzen.jpに空メールを送信してください(スマートフォンの場合は件名に任意の1文字「あ」などを入力して送信)。

今年の西年。古庄さんのインタビュー中に指摘を受けて気づきました。きれいに整備された庭に丸々としたちゃぼ。カメラのレンズをのぞくとまるで「年賀状」本場に立派でした。庭に放しても全く逃げる様子もなく古庄さんに懐いているように見えました。▼Honda 熊本。第88回都市対抗野球大会本戦出場おめでとうございます。▼明るいニュースは気分を明るくしてくれませぬ。今年も「町」での出場は大津のみ。今年も頑張っていたら良かった。(VIDEO)

こゝろの声